

2019年3月期第2四半期決算補足資料

I. 2019年3月期第2四半期決算概要(連結損益)

(単位:百万円)

	2017/9実績	2018/9実績	前期比	
売上高	9,096	8,985	▲1.2%	
売上総利益	6,433	6,367	▲1.0%	
率	70.7%	70.9%	—	
販管費	5,897	5,956	+1.0%	
営業利益	536	410	▲23.5%	
営業外収益	72	81	+13.7%	
営業外費用	3	5	+45.2%	
経常利益	604	486	▲19.5%	
率	6.6%	5.4%	—	
特別利益	—	0	—	
特別損失	1	46	+3865.6%	
親会社株主に帰属する	371	253	▲31.8%	
四半期純利益	率	4.1%	2.8%	—

■売上高

- ・既存店売上高は、6月の大阪府北部地震、9月の北海道胆振東部地震や台風の影響により、広範囲の店舗で休業や営業時間短縮を余儀なくされたこともあり、0.4%減。
- ・リユース直営店の新規出店は3店舗と大幅減少(前年同期は7店舗)。
- ・FC加盟店の新規出店も5店舗と前年同期を大きく下回り(前年同期は16店舗)、新店への商品供給等のFC売上も減少。
- ・以上により、全社売上高は1.2%減。

■営業利益・経常利益

- ・売上総利益は1.0%の微減、販管費は店舗数増加に伴い1.0%の微増となった結果、営業利益は23.5%減、経常利益は19.5%減。

■親会社株主に帰属する四半期純利益

- ・固定資産の減損損失46百万円を特別損失として計上した結果、親会社株主に帰属する四半期純利益は、31.8%の大幅減。

II. 2019年3月期通期連結業績の見通し

※第2四半期の実績を踏まえ、今回通期業績予想を下方修正。

(単位:百万円)

	予想	前期比
売上高	18,900	+2.0%
営業利益	1,150	▲8.0%
経常利益	1,250	▲9.2%
	率	6.6%
親会社株主に帰属する	600	+6.1%
当期純利益	率	3.2%

■売上高

既存店売上高は下期前期比+1.0%を見込む。

全社売上高は2.0%増、23期連続増収・過去最高更新を見込む。

■営業利益・経常利益

増収に伴い売上総利益は微増を確保するが、店舗数増加に伴う販管費の増加分を吸収できず、減益を見込む。

■親会社株主に帰属する当期純利益

特別損失の減少により6.1%の増益を見込む。

III. 配当

	2017/3期 実績	2018/3期 実績	2019/3期 予想
1株あたり配当金	40円	40円	40円
配当性向(連結)	59.2%	95.3%	89.9%

配当性向50%程度を目安とした安定的な配当を実施

IV. リユース店舗数

(単位:店)

	2018/9(実績)		2019/3(見込み)	
	期末店舗数	期中増減	期末店舗数	期中増減
直営店	302	+3	322	+23
FC加盟店	595	+5	575	▲15
リユース店舗合計	897	+8	897	+8

* 直営店2019/3(見込み)の内訳:

2018年10月、11月にFC加盟店から18店舗移管。2店舗新規出店。

* FC加盟店2019/3(見込み)の内訳:

直営店への18店舗移管、5店舗閉店、3店舗新規出店。

* 新刊書籍販売店「ブックオン」3店舗は含めておりません。